

ジギタリス(有毒)

有毒



ジギタリスの花

有毒



ジギタリスの葉

ジギタリス(ゴマノハグサ科)

ヨーロッパ原産の多年草で、高さ1～1.5mになります。花は紫紅色の長い筒状で、下から順番に上に向かって開花します。

葉がコンフリーと似ていて、誤食することがあります(コンフリーについては下記もご覧ください)。

植物全体に強心配糖体のジギトキシンを含有しており、誤食すると、胃腸障害、おう吐、下痢、不整脈、頭痛、めまいなどの中毒症状を起こし、重症になると心臓機能が停止して死亡することがあります。

現在は、コンフリーも食べないほうがいようじゃ。



コンフリー

食用



コンフリーの花

食用



コンフリーの葉

コンフリー(正しくは「シンフィツム」(ムラサキ科))

コーカサス地方原産の多年草で、高さは60～90cm位になります。初夏から夏にかけて釣鐘状の白～薄紫色の花を咲かせます。日本では、昭和40年代に健康野菜としてブームになり、家庭菜園などで栽培され、若い葉を天ぷら、おひたし、炒め物などにして食されていました。

コンフリーにはピロリジジナルカロイド(PAs)を含むことが知られています。このPAsを長期間、過剰に摂食すると肝障害等を引き起こすとされ、ドイツやオーストラリアなどでは、PAsの摂取量の基準を定めています。

日本では、コンフリーによるPAsの食中毒は発生していませんが、平成16年6月18日、厚生労働省はコンフリー及びこれを含む食品について販売禁止とすることにしました。

現在、家庭菜園などで栽培している場合には、これを食べないほうがよいでしょう。